

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第3回）

日時：令和2年7月6日（月）11時～12時

参加者：教員等協議会：飯本（理事）、安岡（理事）、寺東

若手研：迫田（理事）、廣田（参与）、三輪、山田、嶋田、片岡、辻、廣内

学友会：仲宗根、小池、中村、福田

概要：

1. 議題・論点

- (1) 若手研と学友会の合同ミーティングの報告
- (2) 教員等協議会によるヒアリング結果の報告

2. 若手研と学友会の合同ミーティング

2.1.1 若手、学生の希望するイベント

- 研究発表会のフォローアップ、他学会の若手の会との合同イベント、資格試験対策等など、以下の提案があった。
 - 発表会込みの合宿
 - オンライン勉強会。将来的には、他学会との合同開催。
 - 座学ばかりでは魅力が低い(留学経験や就職、キャリアパスに関する企画を開催)
 - 資格試験対策などでは、質問できる環境、機会を設ける。

2.1.2 今年度の実施案

- オンライン形式での勉強会、会議
 - 保物関連の就職、キャリアパス、転職について。
 - 第1回は身内でリハーサルを行い様子見。第2回以降、外部の方を招待。
 - 定期的（1ヶ月に1回程度）にミーティングを行い、情報を共有。
- イベントの周知方法
 - ML、SNS、Facebook、ニュースレターへの投稿も検討。広報担当を設置。
 - 若者はFacebookよりTwitter。情報を得る姿勢が受動的か
 - Facebookも外部向き、内部向きを設定し、継続的に活用。
 - 共有ソフト、チャットソフトはほとんどの機関で利用できない。
 - 会議システムはzoomとwebexはほとんどの機関で利用可能。
 - Youtubeでのライブ配信（公開範囲には注意が必要）
 - Pukiwikiの試験運用

3. 教員等協議会によるヒアリング

- 学生支援（研究支援活動、海外派遣活動、関連学会への派遣活動、初めての（英文）論

文投稿への援助活動)

- 教員等協議会の期待すること（保物の人材育成の不足を補う）
- 学会認定資格（放射線取扱主任者とのダブルライセンスを得ることで放射線管理への就職に有利に働ければ学生は興味を持つのではないか）

- 学会認定資格

- 主任者とダブルライセンス（技師や薬剤師）を取ることで、就職に有利に働ければ、興味を持つのでは？ 例えば、医学物理士定制度、核医学認定薬剤師
- 社会のニーズを把握することが必要
- ダブルライセンスを取得する環境だけでなく、取得後の環境を整備する必要あり

4. 総合討論

- オンライン形式での勉強会及び会議の運営について

- Zoom のアカウントによっては使用に制限があるためイベントや会議の参加、実施に不都合がある場合が多々あるので、専用のアカウントを保物の予算で購入できればよい

- シニアとの交流について

- 保健物理分野の時代の流れ、チェルノブイリ時代をはじめとする昔の PDF 化されていないような論文、情報、知識を共有
→ 関連論文のデータベース化、アーカイブ化
- シニア視点でのキャリアパス

- これまでの若手研、学友会の活動報告資料の公開について

- 学会 HP にこれまでの発表資料（学友会や若手研の活動資料）を掲載。ツイッターで URL をはり、拡散。
- 活動を評価してもらう環境、機会を作る

- 千葉市科学フェスタについて（10/10 or 11）

- 霧箱メインへの移行（東大・飯本研究室の協力）
- UV を使ったコースター作り（都立産技研・片岡さんの協力）
- サーベイメータを用いた計測の取りやめ

次回

今年度の実施内容について具体的に決めていく。また、短期・中長期での視点で行うべきことについてそれぞれ検討を行う。

以上